

外での出会い 人生の自信

いま No.1549
子どもたちは
この小さな学び舎で ①

きらきらと光るシャンパンゴ
ールドのスカートに、つややか
な深紅のワンピース――。
クリスマスも間近に迫った昨
年12月半ば、午前10時過ぎ。東
京都港区の私立特別支援学校、
愛育養護学校(4月から愛育学
園に改称)に、おめかしをした
子どもたちの姿があった。「上
着は着たかな?」。先生たち
は、外出の準備に追われる。

この日は、区内の高級ホテル
「グランドハイアット東京」を
訪れる、特別な日。愛育の子ど
もたちがみんなで外出する、貴
重な機会でもある。
車いすやバギーに座ったり、
数人で台車に乗ったり。先生に
おんぶしてもらおう子がいれ
ば、愛育で実習中の大学生と手
をつないで歩く子も。ホテルま
では約1時。大使館やレストラ
ンが面する歩道を、三十数人の
列は、ゆっくりと進む。

列から走り出してしまおう子ど
ももいて、先生たちは目が離せ
ない。でも、道中の消防署の前
に来ると、歩みはびたり。台車
から身を乗り出した小学部1年
の、しあくん(7)は「今から出
るで、3人で台車に乗っていた
1年のしんたろうくん(7)が、
ふいに台車から降りた。「歩く
の?」。先生が聞くと、自ら台
車を引っ張り始めた。「すごい
ね!」「びっくりしたよ」。振
り向いたしんたろうくんは、に
んまり笑った。

愛育養護学校には、自閉症や
ダウン症、知的障がい、肢体不
自由など、様々な障がいのある
子どもたちが通っている。幼稚
部に5人、小学部に12人がお
り、千葉や神奈川など近県から
通う子どもも。全校児童17人
の、小さな小さな私立校だ。
愛育の子どもたちは、日常的
に外へ出かけていく。すぐ近く
の有栖川宮記念公園やスーパ
ー、区内のプール。高学年にな
ると、今年度は新宿からバスに
乗って山中湖へ。たくさんの人
がいる場所でも自信を持って堂
々と関わる事ができるように
と、学校以外の場所でも、小
さな経験を積み重ねていく。

大羽太郎先生(52)は「街で出
会った人とのあいさつひとつを
とつても、子どもたちにとって
学びや出会いの機会になる」と
いう。そして「集団で出かける
ことで、学校生活では見ない、
新しい仲間の姿に出会うことも
あるんです」。

初めて訪れる場所に不安を感
じる子どもも、少なくない。こ
の日も、先生たちは必要に応じ
て事前に写真を見せ「今日はこ
こに行くけれど、どうかな?」
と声をかけている。
最初は驚いて立ち止まった
り、歩き回ったりしている子ど
もたちも、サンタが姿を現すと
興味津々。少しずつ、周りに集
まってくる。おらずとサンタ
にハイタッチしたのは、2年の
あさひくん(8)。5年のちかさ
ん(11)が確認するようにサンタ
のひげを触ると、サンタも玉木
喜美子先生(60)も思わず苦笑
い。普段は歩行器を使って移動
する幼稚部のことみちゃん(6)
は、松田早苗先生(41)に背中を
支えられ、サンタからプレゼン
トを受け取った。

私立の特別支援学校 特色ある教育

愛育養護学校の前身は、
1938年に開設された知的障が
いがある子どもの特別保育室
で、55年に学校として認可さ
れた。母体は、愛育病院など
を運営する恩賜財団母子愛育
会。時間や空間の制約をせず、
子どもの自主的な活動を重
視した教育が特徴だ。現在も
音楽や造形などの課題活動の
時間はあるが、参加するか
は子どもたち自身が選ぶ。
同校を運営する学校法人愛
育学園の理事長代行で、恩賜
財団母子愛育会の古川貞二郎
会長(84)は「今何をしたいか
ということも、子どもが自分
で悩み考える時間を、大人が

奪ってはならない」と言う。
「この経験は、今後の人生で
自信につながるはずだ。自分
自身で選んで行動し、その結
果も受け入れられるように応
援したい」
私立の特別支援学校は全国
に14校しかない。愛育は幼稚
部と小学部のみで、子どもた
ちは卒業後、公立の特別支援
学校などに進む。ギャップに
悩む保護者も少なくなく、中
学校との連携は課題のひとつ
だ。古川会長は「子どもたち
は開かれた社会の中で育っ
ていく。公立や私立がそれぞれ
の特色を理解し、高め合う関
係も必要だ」と話す。



①クリスマスを前にみんなで出かけたグランドハイアット東京。あさひくん(左端)はサンタさんにハイタッチ。グランドハイアット東京へ向かう。しんたろうくん(中央)は台車を自ら引っ張り始めた。いずれも東京都港区



②愛育の子どもたちは、日常的に外へ出かけていく。すぐ近くの有栖川宮記念公園やスーパー、区内のプール。高学年になると、今年度は新宿からバスに乗って山中湖へ。たくさんの人



「愛育通信」を母と一緒に読むことみちゃん(東京港区)

◆感想や、教育に関する情報をお寄せ下さい。edu@asahi.comまたはFAX03・3542・4855へ。